

令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 25号

令和6年9月25日(水)発行

校長 関根 崇史

## 第1回学校評価の結果を受けて～結果及び改善策、学校としての方針等【その3】

### VI 組織運営

教職員：諸会議の議題の精選や進め方等の工夫等により、会議の効率化が図られていますか・・・78.9%

本校の教職員は、子供たちのために、情熱と愛情をもって指導や支援にあたってくれています。それぞれの役割や分掌に責任をもって業務に取り組む姿勢は素晴らしく、保護者や地域の皆様からの信頼に値するものだと考えています。学校長としては、安心して仕事に取り組める環境づくりと、すべての教職員が同じ方向を向いて教育活動に取り組めるように、経営方針や学校の課題を明確に示せるようにしていきます。また、学校が忙しすぎることは、日本全体の社会問題となっています。本校でも、ゆとりをもって子供たちと接していけるようにするため、また、職員の心身の健康を守るため、働き方改革、業務改善は早急に対応していかなくてはならない課題です。多忙の要因になっている業務内容を校内で見直して、不要であるものは廃止、やり方を変えることで効率化が図れるものは工夫をして改善していきます。もちろん、もっと時間をかけてでも大切にして取り組んでいきたいことについては、これまで同様しっかりと力を注いでいきますのでご安心ください。

## 第1回学校評価を終えて

第1回学校評価の分析等は以上となります。学校通信第23号でもお知らせした通り、さらに詳しい結果につきましては、学校 Web ページのトップページから確認をお願いします。

二学期末、12月に第2回学校評価を実施する予定です。第1回からの変容を確認するため、質問項目は同じものになります。第1回の結果をもとにして、校内での改善に取り組み、プラスの変容が図れるように努めていきたいと思えます。ご家庭につきましても、評価項目をもう一度見直していただき、家庭内で対応できる事項については、日常的に意識をしながら、お子さんへの声かけや支援をしていただけたらありがたいです。

子供たちの教育は、学校だけでなく、学校・家庭・地域社会が、それぞれの役割を分担しながら、連携して行われることが重要です。社会に「開かれた学校」となり、家庭や地域に働きかけを行いながら、ともに子供たちを育てていくという視点に立った学校運営を心がけていきたいと考えています。そのために、保護者や地域の皆様に、学校としての考えや教育活動の現状、子供たちの様子などについて、できるだけ丁寧に細かく伝えていきます。各学年で発行している学年通信では、子供たちの様子、月の予定や準備が必要なもの、集金等についてお知らせしています。学校長が不定期に発行している学校通信では、学校の指導方針や子供たちに対する思いなどを、できるだけタイムリーに（その場、その時に）伝えられるようにしています。また、今年度は、学校 Web ページを整備し、5月中旬より「活動の様子」（坂東小学校日記）を毎日発信しています。こちらでは、日常のちょっとしたシーンを切り抜いて紹介していますので、学校の空気感や子供たちの様子が伝わるはずですが、これらをすべて見ていただき、それでも「情報が伝わってこない」「学校の様子が分からない」と感じる方がいましたら、どのような情報発信をしてほしいのか、ぜひご意見をいただけたらと思います。保護者や地域の皆様、関係機関の意見を十分に聞いて、一層の連携強化に努めていきます。引き続き、学校教育へのご理解とご協力をお願いします。